

# PLAZA IMS

## 秋

2008/10月  
Vol.11(秋号)

# プラザイムス

イムス三芳総合病院

## アレルギー性鼻炎に対する レーザー焼灼術について

レーザー焼灼術(レーザー治療)はアレルギー性鼻炎に対して近年積極的に行われるようになってきた治療法です。鼻の粘膜を凝固して変性させることによりアレルギー症状を緩和させます。鼻の穴から内視鏡、プローベを挿入しておよそ30~60分くらいで終了します。

ただし粘膜は徐々に再生するため、鼻水症状の改善を目的としてなら1~2年の効果でしかありませんが、鼻づまり症状には大きな効果が期待できます。鼻水症状に対しても一時的な効果を期待して治療するケースも増えてきています。

当院では局所麻酔下で行っているため、日帰りでも可能です。また、保険も適用されていますので数千円程度の費用でできます。治療をお考えになっている方は耳鼻咽喉科までご相談ください。

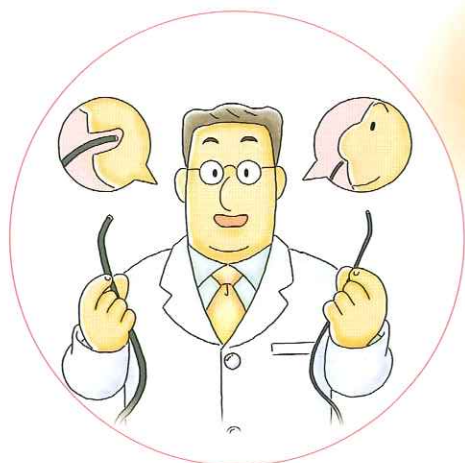


耳鼻咽喉科 宮崎 貴志

## 補聴器外来を開始しました

急に耳が遠くなった場合を除いて、聞き取りを良くする唯一の方法が補聴器の装用になります。一般に認知されている補聴器ですが、適正に検査をされずに購入を勧められるケースが多いようです。当科では、純音聴力検査(聞き取りの検査)、語音聴力検査(聞き分けの検査)をして装用耳を決定後、当院に入っている補聴器業者(キコエ補聴器、リオネット)に紹介しています。補聴器もまず購入する前に、一定期間貸し出したあと適性を見た上で購入していただいています。補聴器の使用を考えている方、補聴器を購入したもののあまり使用していない方もお気軽にご相談ください。





# 鼻からの内視鏡検査をご存じですか?

～経鼻内視鏡検査のご紹介～

胃の内視鏡検査は、口からだけでなく鼻からも行えるのをご存じですか?当院では、より苦痛の少ない内視鏡を多くの患者さまに受けて頂くために経鼻カメラを導入しました。

## 鉛筆より細い内視鏡

鼻から内視鏡検査を実現する内視鏡はこんな構造になっています

先端部分約5mmの  
極細内視鏡



経鼻挿入内視鏡

内視鏡は先端部5mmという細さです。鉛筆と比べると、どれだけ細いかお分かりいただけることでしょう。



診断に必要な機能も充実

処置用具の2mmの「鉗子口」を備えているので、胃液の吸収や組織採取なども行なえます。

細くても観察画像は高画質

超小型CCDを搭載しているため、医師は通常の内視鏡と同等の高画質で観察が行なえます。

## 鼻から行う内視鏡の特徴

### メリット

- 内視鏡がのどにふれることもないので不快感、吐き気などの苦痛が少なく検査ができます。
- 検査中、会話ができます。
- のどの麻酔をしないため、検査後早い時間に飲食できます。



経口挿入



経鼻挿入

### デメリット

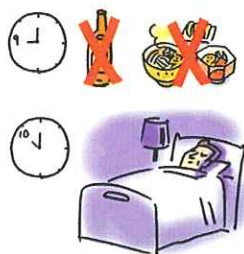
- 鼻腔が狭い(変形・鼻炎花粉症等)場合、カメラが挿入できない場合があります。
- まれに鼻血を起すことがあります。

※もし鼻からカメラを挿入できない時は、口からとなる場合があります。



## 検査の流れ

### ① 検査前日



夕食は軽めに摂り、21時以降の飲食(水を除く)は避け、早めの就寝を心掛けましょう。

\*採血等の事前検査が必要な場合もあります。

### ④ 鼻の麻酔

検査室に移動後、鼻の中に麻酔をします。あお向けに横になり鼻にスプレーの麻酔をします。

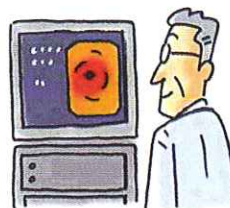
### ② 検査当日の朝



飲食(水を除く)、喫煙、薬の摂取は避けてください。

\*常備薬を服用されている方は、事前に医師にご相談ください。お水は検査の2時間前まで飲んでかまいません。

### ⑤ 内視鏡検査



医師がモニターに映るおなかの中をすみすみまで観察します。会話ができますので、気分が悪いときはお知らせ下さい。

### ③ 検査の準備



胃の中をきれいにするため、白い液体の薬(消泡剤)を50cc飲みます。

### ⑥ 検査後

検査が終わったら身支度を整え、少し休んでください。気分や体調がすぐれないときは、すぐに医師に伝えましょう。むせ込みがなければ飲食できます。

### 最後に

当院では経鼻内視鏡を行った患者さまにアンケートをとったところ、ほとんどの患者さまが経口内視鏡より苦痛が少ないという結果が得られました。経鼻内視鏡の導入により内視鏡検査が身近になってきたと思います。癌予防の為に症状がない時にこそ、内視鏡検査をおすすめします。

内視鏡スタッフ一同



医療サービスの一環として、当院では患者さまの受診を分かりやすくするため、平成20年7月1日より自動再来機が導入されました。それに伴い8月11日より順番表示機も導入し、受付から診療までの流れが電子化されました。

当初は流れがわかりにくい、手軽でないとの戸惑いの声もありましたが、最近では受付手順の待ち時間が少なく、受付から診察までの流れがスムーズになりました。また待ち時間の目安としての機能など患者さま方からは深いご理解をいただいております。下記には概要を記載しましたので受診されている方、これから新しく当院を受診される方はご利用、ご協力をお願いいたします。

## 再来機ご利用の方へお知らせ!



## 受付票のご案内

受診科 内容 医師 の順に印字  
(診察を選択された方のみ)  
順番表示されます

保険証は月に1度確認させていただいております。  
会計時ご提出をお願いいたします。



**呼出表示機**  
平成20年8月稼動  
表示されたら診察  
選択した科・医師の診察室へ  
お入りください。  
———〈表示例〉———  
**小児科 9番**  
順番表示されたら診察室へ  
お入りください。

## 皆様の声を聞かせてください!

イムス三芳総合病院では、よりよい病院づくりをすすめるため、患者様・地域の皆様のご意見を募集しています。ご意見は下記FAX、E-mailまたは院内総合受付横に設置のアンケートBOXまで。皆様の貴重なご意見をお待ちしております。

FAX : 049-274-7016 E-mail : renkei.mkh@ims.gr.jp

イムス三芳総合病院 広報誌  
Plaza ims (プラザイムス) Vol.11 2008.10  
発行/イムス三芳総合病院 地域医療連携室  
発行日/2008年10月  
〒354-0041 埼玉県入間郡三芳町藤久保266-1  
医療法人社団明芳会 イムス三芳総合病院  
TEL049-258-2323  
<http://www.ims.gr.jp/miyoshisougou/>